

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	柿生学園	評価対象年度	令和元年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護・施設入所（定員60名） 契約者数 60名（令和2年3月31日現在） 短期入所（定員 4名） 延利用者数1,295名 日中一時（1日 5名） 延利用者数86名																										
収支実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">収入</th> <th style="text-align: left;">支出</th> <th style="text-align: right;">収支差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉事業活動 539,418千円</td> <td>福祉事業活動 534,972千円</td> <td style="text-align: right;">2,151千円</td> </tr> <tr> <td>給付費 360,459千円</td> <td>人件費 311,977千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助 100,005千円</td> <td>事務費 71,055千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料 31,768千円</td> <td>事業費 62,485千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入 11,216千円</td> <td>拠点区分間繰入金 89,455千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 35,970千円</td> <td>施設整備等支出 2,295千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 539,418千円</td> <td>合計 537,267千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>			収入	支出	収支差額	福祉事業活動 539,418千円	福祉事業活動 534,972千円	2,151千円	給付費 360,459千円	人件費 311,977千円		川崎市単独扶助 100,005千円	事務費 71,055千円		指定管理委託料 31,768千円	事業費 62,485千円		拠点区分間繰入 11,216千円	拠点区分間繰入金 89,455千円		その他 35,970千円	施設整備等支出 2,295千円		合計 539,418千円	合計 537,267千円	
収入	支出	収支差額																									
福祉事業活動 539,418千円	福祉事業活動 534,972千円	2,151千円																									
給付費 360,459千円	人件費 311,977千円																										
川崎市単独扶助 100,005千円	事務費 71,055千円																										
指定管理委託料 31,768千円	事業費 62,485千円																										
拠点区分間繰入 11,216千円	拠点区分間繰入金 89,455千円																										
その他 35,970千円	施設整備等支出 2,295千円																										
合計 539,418千円	合計 537,267千円																										
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の支援区分が高く高齢化が進む中、利用者一人ひとりの意思と人格を尊重し、様々な場面で利用者の意思決定が出来るよう支援した。学識者、家族、後見人等を構成員とした虐待防止委員会を設置し、利用者への権利侵害の防止に努めた。 ・相次ぐ自然災害を受け、災害対策委員会を立ち上げ、施設のさらなる防災力向上に向け危機管理意識を高め、利用者の安全・安心確保に徹した。 																										

3. 評価（評価段階：5～1,標準：3,加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・利用者の意思決定支援に重点を置き、外出支援や選挙への参加など利用者を選択肢を示しながら、利用者自身の意思を尊重した取組を推進することで、利用者の満足度を向上させることができた。 ・短期入所事業では、前年度の大規模改修工事や受入れ中止の影響を受けながらも、緊急性の高い利用者の相談に対応し、稼働率を上昇させている。 ・実習生を積極的に受け入れ、そのうち1名が柿生学園に就職している。 ・グループホームのバックアップ機能の強化として、専門性を高めるための研修に積極的に参加し、緊急時の対応について指示や協力を行っている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) ・支出については、前年度に運営法人が実施したファンコイル工事やLED交換によって、水道光熱費の経費を抑制することができた。 ・収入については、退所者の発生後に入所調整会議を迅速に開催し受入れ調整を行うことで、安定した稼働率や収入を維持し、収入増となった。 ・会計基準に基づいた適正な会計処理が出来ている。					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の意思を尊重し障害特性等やニーズ等に基づいた個別支援計画を作成・モニタリングすることによって、根拠に基づいた支援を提供して利用者のQOLの向上に努めている。また、15名ずつ4ユニットの小集団を基本とし、家庭的な雰囲気を持った穏やかな生活を重視している。 ・新たに「自己啓発目標シート」を導入し、自らの支援についての課題と目標の確認を行うことで、支援員全体の権利擁護意識の底上げを行った。また、「虐待防止チェックシート」を利用して、不適切と思われる支援がないか、虐待防止委員会で検証の上、結果を支援員に情報共有されている。 ・第三者評価を実施し、利用者の意見や要望等を聞き取り、可能な限りサービス内容に反映させ、利用者の意思を尊重したサービス提供を行っている。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市の強度行動障害支援者研修ファシリテーターとして講師派遣し、市内の強度行動障害者への支援強化に貢献した。 ・利用者の高齢化や身体機能の低下に合わせ、職員の支援力向上に向けた様々な研修を実施した。また、自然災害等に対応するため「災害対策会議」を開催し、BCPや災害用品の見直しを行うなど、施設の安全体制の強化を図った。 ・「事故防止」「ヒヤリハット」については、事故防止委員会にて毎月検証し、再発防止に取組み、事故件数を減少させている。 ・日常的に職員が意識できるよう、関係法令、基準・利用契約等を施設内に掲示し、コンプライアンスの重要性について職員への周知徹底を図った。 また、会計監査人内部による監査の実施や、コンプライアンスに関する研修に参加し、法人の経理既定の順守強化を徹底するよう努めている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種保守・点検について、業務委託により適切に実施されている。 ・市の修繕工事で自動火災報知機の交換、放送設備、施設修繕にてLED交換を行い、安全性を確保するよう努めている。 					

5. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計：100点満点,標準点:60点

評価ランク：A～E,標準: C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・プログラム内容や選挙への参加など、利用者の自己決定権を尊重した支援をすることで、利用者の満足度や、サービスの質の向上につながっている。
- ・ニーズの変化に即応し利用者主体の質の高い支援プログラムを提供するために、PTや看護師等の専門職が連携して支援を行っている。
- ・新たに災害対策会議を立ち上げて、BCPの見直しや安全管理体制の強化を図るとともに、災害被害を受けた施設への支援や災害応援ボランティアへの職員派遣を行うなど、災害時における他施設や地域との連携を強化している。
- ・川崎市の「強度行動障害支援者研修」へファシリテーターとして講師派遣することで、市内の強度行動障害者への支援強化に貢献した。
- ・施設の老朽化による各機械や設備の不具合が発生しているが、市の修繕工事や施工工事を活用し、施設の機能が停止しないように努めている。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

発生している事故件数は減少しているものの、昨年度と同様の事故も起きていることから、再発防止に向けた取組みを一層充実させること。